

2025年11月23日主日礼拝説教要約

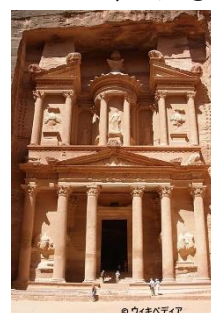
オバデヤに語られた理由

(オバデヤ12～15)

一、オバデヤ書の背景

今回指定されたのは12節から15節ですが、この箇所を読んだだけでは良く分からないので、前の方から読み解きたいと思います。1節です。〈オバデヤの幻。神である主は、エドムについてこう言われる。——私たちは主から知らせを聞いた。使節が国々の間に送られてこう言った、と。『さあ、立ち上がれ。エドムと戦おう』〉とあります。オバデヤは何を聞いたのでしょうか。4行目、5行目です。〈使節が国々の間に送られてこう言った、と。『さあ、立ち上がれ。エドムと戦おう』〉でした。2節を見てまいります。〈見よ。わたしはおまえを国々の中で小さい者、ひどく蔑まれる者とする。〉とあります。これは、エドムに対する主のさばきのことばです。3節、4節は、当時のエドムの様子です。〈岩石の裂け目に住み、高い所を住まいとする者よ。おまえの高慢は、おまえ自身を欺いている。おまえは心の中で言っている。『だれが私を地に引きずり降ろせるのか』と。驚のように高く上っても、星々の間に巢を作っても、わたしは、おまえをそこから引きずり降ろす。——主のことば。〉と語られています。この写真をご覧ください。ヨ

ルダンにあるペトラ遺跡です。岩盤をくりぬいて造った神殿です。



これを作ったのが、エドム、すなわちエサウの子孫であったと言われています。これだけの建造物を造るためには——しかもたくさんあります——、かなり文明が発達していなければ無理かと思えます。知恵も必要です。エドム人にはそれがあつたということです。8節で語られています。〈その日には、——主のことば——わたしは、エドムから知恵ある者たちを、エサウの山から英知を消し去らないうか。〉と。しかし知恵があると、人は、創造主を畏れない限り、高慢になります。高慢は「罪」です。すなわち神のご性質と相容れないものです。それが3節の〈岩石の裂け目に住み、高い所を住まいとする者よ。おまえの高慢は、おまえ自身を欺いている。おまえは心の中で言っている。『だれが私を地に引きずり降ろせるのか』と。〉という主の預言のことばかと思われまふ。

二、エドムが断罪されたわけ

エドムが断罪された、具体的な出来事は何だったのでしょうか。10節以降に記されています。10節です。〈おまえの兄弟、ヤコブへの暴虐のために、恥が

おまえをおおい、おまえは永遠に断たれる。〉と。エドムがヤコブに為した暴虐とは何だったのでしょうか。11節です。〈他国人がエルサレムの財宝を奪い去り、外国人がその門に押し入り、エルサレムをくじ引きにして取ったその日、おまえは素知らぬ顔で立っていた。おまえもまた、彼らのうちの一人のようであつた。〉と。これは、紀元前586年、バビロン軍によってエルサレムが破壊された日のことを語っていると思われる。エドムは、ただ黙って見ていただけではありませんでした。12節です。

〈おまえは兄弟の災難の日に、それを見ていてはならない。ユダの子らの滅びの日に、彼らのことで喜んではいない。その苦難の日に大口をたたいてはならない。〉より、エルサレムが破壊された日に、エドムは喜んで見ていたようです。さらに、13節です。〈おまえは彼らのわざわいの日に、わたしの民の門に入ってはならない。ほかでもないおまえが、彼の破局の日に、そのわざわいを眺めていてはならない。彼の破局の日に、彼らの財宝に手を伸ばしてはならない。〉とあります。エドムは、騒乱に乗じてイスラエルの財宝に手を伸ばしたことが分かります。その基調は14節に続きます。〈その逃れる者を断つために、別れ道に立ちふさがってはならない。その苦難の日に、彼らの生き残った者を引き渡してはならない。〉と。

三、私たちへの適用

オバデヤに語られた預言のことばは、私共にどう適用したらよいのでしょうか。私はこう考えます。きょうだいの契り、創造主なる神から出たものなので、大切にすべきであるということです。エサウとヤコブの仲の悪さは、一旦回復したとはいえ、2千年近く続きました。ですが、創造主から見るなら、エサウとヤコブは、兄弟です。この関係は、永久に変わりません。オバデヤ書によれば、きょうだいであるのは、神から出たことであり、極力関係を大切にしていけることが、主の御意思であると教えられる。箴言に〈17・17友はどんなときにも愛するもの。兄弟は苦難を分け合うために生まれる。〉とあります。その場合の兄弟とは、実の兄弟です。これが守られるなら、神の祝福が来ることを教えられる。イエスさまは、兄弟姉妹の範囲を広げて次のように言われました。〈マタイ12・50だれでも天におられるわたしの父のみこころを行なうなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。〉と。そういうわけで、どうか、主にあって自分のきょうだいを見直してください。きょうだいであることを定められたのは創造主なる神だからです。また、教会でも私共は主にあつて兄弟姉妹です。私共を出会わせられたのは主イエス・キリストですから、そういう意識を持たれたら良いです。